

2020年3月13日

## 住友理工・住理工ロジテック、 「エコシップマーク 優良事業者」に選出

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、物流子会社、株式会社住理工ロジテック（愛知県小牧市、代表取締役 社長：内藤肇）とともに、エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会より「令和元年度 エコシップマーク優良事業者」として選定され、「国土交通省海事局長表彰」を受賞しましたので、お知らせいたします。



大坪海事局長（左）から表彰状を受け取る住理工ロジテックの石川

2月下旬、海運クラブ（東京都千代田区）で表彰式が行われ、大坪新一郎・国土交通省海事局長より、住理工ロジテック ゼネラルマネージャー 石川剛一に表彰状が授与されました。

エコシップマーク優良事業者として選定された事業者が、国土交通省海事局長表彰の受賞者となります。当社グループでは、荷主として住友理工 松阪製作所（現：松阪事業所）、物流事業者として住理工ロジテック 松阪物流センターが受賞しました。

### ■エコシップマーク認定制度

エコシップマーク認定制度は、2008年度にスタートし、今回で11回目。地球環境にやさしい海上貨物輸送を一定以上利用している荷主、物流事業者に対して、「エコシップマーク」の認定を行い、海上貨物輸送へのモーダルシフト化を一層促進することを目的としています。

参考 エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会 WEB サイト <http://www.ecoship.jp/>

## ▶ 対象となった活動

2017年10月より取り組んでいる「フェリーを利用した自動車用ホース等の海上輸送へのモーダルシフト」の活動が評価されました。

これは、住友理工の松阪事業所がある三重県松阪市と福岡県北九州市の間における自動車用ホースの輸送（松阪市発）および空容器・パレットの輸送（北九州市発）について、従来のトラック輸送から、長距離フェリー航路（北九州⇄神戸）を利用した海上輸送への転換を図る取り組みです。なお、年間の輸送回数（往復）は約250回。

## ▶ 効果

- ・フェリー輸送を利用したことで、輸送時間は約9時間から約20時間に延びましたが、ドライバーの運転時間は約3時間減少しました。
- ・フェリーの定刻出発に対応するために、住友理工での生産も効率的になりました。
- ・ドライバーがトラックの運転にかけていた時間が、1,887時間/年（43%）減少（推定）。
- ・CO<sub>2</sub>は、140トン/年（52%）減少（推定）。

住友理工グループでは今後も、安定した製品供給を計画・実施する中でも、効率的かつ地球環境に配慮した輸送を目指してまいります。

## ■ 株式会社住理工ロジテック

住友理工グループが製造する、自動車用防振ゴム・ホース、一般産業用品などの物流を担う住友理工のグループ会社。

## ▶ 概要

- 所在地： 愛知県小牧市東二丁目322番地（住友理工株式会社 小牧本社・製作所内）  
資本金： 7,000万円  
出資比率： 住友理工株式会社（90%）、フコク物流株式会社（5%）、北港運輸株式会社（5%）  
代表者： 代表取締役 社長 内藤肇（ないとう はじめ）  
設立： 2003年10月1日  
従業員数： 83人（2019年3月末時点）  
事業内容： 住友理工グループ会社の物流業務の受託

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>